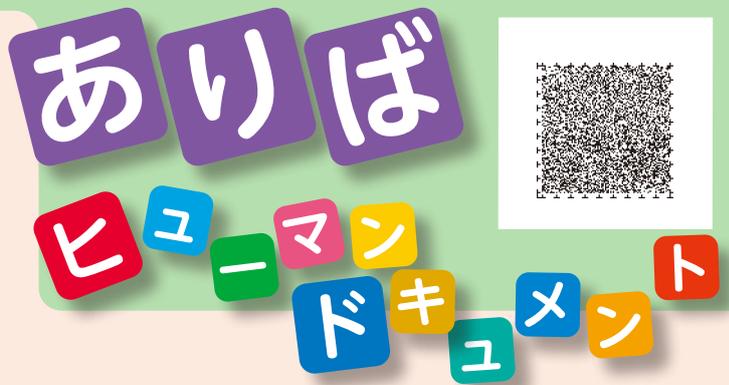




「職場やサッカーにおいても、まずは挨拶をすることを心掛けています。人とのコミュニケーションはどんな時も挨拶が大事ですよ。」と素敵な笑顔でお話いただく原良田さん。



鹿児島ユナイテッド FC フェューチャーズ主将
JFFID 日本代表

[原良田 龍彦] さん

2019年に発足した知的障害者サッカーチーム『鹿児島ユナイテッドFCフェューチャーズ』は、『鹿児島をもっとひとつに』をクラブスローガンに、現在、主将の原良田龍彦さんら約25名の選手が所属し、練習や対試合に取り組んでいます。

原良田さんがクラブに加入したのは中学校三年生の時。現チームの前身であるFID鹿児島島の頃からです。「サッカーを始めたのは小学生の時、友達に誘われたことがきっかけでした。中学校のころは学校の部活とクラブの両立をしていました。サッカーのおかげで人とのつながりをたくさん持てたと思っています」とお話しくださいました。

原良田さんは現在、サッカーを続けながら『鹿児島温泉 時之栖』で勤務しています。「働きながらサッカーができる環境にとても感謝しています。仕事は主に番台での接客や、浴室などの清掃です。お客様に『いい湯だった。ありがと。』と声を掛けていただくと、仕事のやりがいを感じてもっと頑張ろうと思えます」と話す原良田さんに

温泉のおすすめを聞いたところ、「サウナですね！疲れもとれるのでお客様にもお勧めしています」と笑顔でお応えいただきました。

もうひとつのW杯へ向けて

Virtusサッカー世界選手権2022が今年の6月に開催決定しました。この大会はもうひとつのW杯とも呼ばれており、日本は2014年の大会でベスト4という輝かしい成績を残しています。

原良田さんの日本代表選出は今回で2回目。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年の世界大会はやむなく中止となりました。「目標に掲げていた大会だったので悔しさはありましたが、プラスに捉え、次へ」という気持ちに切り替えました。その時にいただいた話が、フランス国際親善マッチです。残念ながら自分の持ち味を出せないまま試合は終わってしまいました。ですが、海外選手と試合が出来る機会はありません。そのため素晴らしい経験となり、日本では感じられないスピード感やパワーを感じる事が

できました。上手いかない時もあります。この経験を糧に、自分が今なにをすべきか考え成長していきたいです」と力強くお話しくださいました。

原良田さんは、4年後の世界選手権の代表メンバーに選出され、日本の勝利に貢献することを目標の一つに掲げつつ、「まずは、フェューチャーズの主将としてチームを引っ張っていきたいです。質の良いトレーニングをして、鹿児島はやはり強い！鹿児島が一番だ！と言われるチームにしていきたい」と決意を述べていました。

サッカーも仕事も何事にも実直な原良田さん。ピッチ上での今後の活躍が楽しみです。



©KAGOSHIMA UNITED FC

10月に栃木県で行われる全国障害者スポーツ大会に、九州ブロックの予選会を勝ち抜き、鹿児島県代表選手として出場します。



お客様に快適に過ごしていただくため、掃除は隅々まで丁寧におこなうところを大切にしています。

とまのすみか
鹿児島温泉 時之栖

〒890-0034

鹿児島県鹿児島市田上6丁目1-6

TEL: 099-256-1126

